

日向路の博物館

発行：宮崎県博物館等協議会事務局 <http://miyahakukyo.starfree.jp>

<各館トピック>

■□■高鍋町歴史総合資料館

(ニノ丸文教歴史館) ■□■

高鍋町歴史総合資料館(ニノ丸文教歴史館)は令和6年12月21日(土)にリニューアルオープンしました。1階展示室では古代から中世、藩政時代を伝える歴史資料が豊富に展示。2階展示室は、藩の歴史や藩校「明倫堂」の教育、偉人等についてパネル展示するなど全面的なリニューアルを行っています。



—宮博協だより第29号の発刊によせて—

宮崎県博物館等協議会 会長 松野 義直

各会員館・園におかれましては、令和6年度の本協議会事業につきまして、格段のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年度、本県は多くの自然災害に見舞われました。日向灘を震源とする地震が8月と1月に、台風接近に伴う竜巻や突風、大雨による被害などが発生し、自然の脅威を感じるとともに、文化財防災についても考えていく必要性を改めて実感したところです。

私たち館・園はすべての人々に開かれた、学びと楽しみ、そして未来を考えるための機関です。自然災害に対して、来館された方の安全とともに収蔵資料の安全も確保する必要があります。その協力体制を今一度確認し、いざというときに備え、行動に移せる協議会でありたいと考えております。

今後とも、会員各館・園の皆様と連携して、宮崎県の文化の発展のため取り組んで参りたいと存じますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 宮崎県博物館等協議会 実施事業

- 1 令和6年度 総会、第1回研修会
- 【期 日】 令和6年6月7日（金）
- 【会 場】 宮崎県立美術館
- 【総 会】 ○ 議 事
- ・ 令和5年度事業報告について
 - ・ 令和5年度決算（案）及びミュージアムマップ更新積立金残高報告、災害時相互協力基金残高報告について
 - ・ 令和6・7年度役員（案）、令和6年度事業計画（案）、令和6年度収支予算（案）について
- その他
- ・ ミュージアムマップの更新について
 - ・ 宮崎県博物館等協議会会費納入について
- 【研修会】 ○ 講 演
- テーマ：「サステイナブルなデジタルアーカイブ
～法改正と博物館DXに対応するために～」
- 講 師：早稲田システム開発株式会社 代表取締役 内田剛史氏
- テーマ：「あなたの自作映像で博物館の魅力を発信してみませんか
～ 実践性・持続性を重視した映像発信戦略の提案 ～」
- 講 師：筑波大学 名誉教授 西岡貞一氏
- 情報交換・諸連絡
- 視 察
- 特別展 佐川美術館コレクション 平山郁夫展
案内：副館長 梅田一明氏
- 他 常設展示
- 2 令和6年度 第2回研修会
- 【期 日】 令和6年10月30日（水）
- 【会 場】 都城島津邸・ウエルネス交流プラザ
- 【巡 検】 都城島津邸 特別展「室町時代の文化と南九州―動乱の世の島津氏・北郷氏―」
解説：都城島津邸 学芸員 中嶋愛氏
都城島津邸本宅 案内：都城島津邸 副館長 米澤英昭氏
- 【研修会】 ○ 情報交換会・協議
- 講 演
- ・ テーマ「文化財の保存環境～熊本博物館の事例について～」
講師：熊本博物館 保存科学担当学芸員 坂本直也氏

令和6年度 総会・第1回研修会について【報告】

① 総会（10：50～12：00）会場：アートホール

36館中、26館の出席があり、総会は成立し議事を行うことができた。総会では、会長の松野館長が議事進行を行い、事務局が提案した原案はすべて会員館の承認を受けた。

情報交換の場では、宮崎大学農学部附属農業博物館より「教育支援データベースの概要と現状について」の紹介があった。併せてミュージアムマップについては、デジタル化についても意見をいただいた。安井息軒記念館から燻蒸についてお話しいただき、他館の燻蒸に関する工夫や実践について情報交換を行う場面もあった。県立美術館からは博物館登録についての情報提供があり、西都市歴史民俗資料館からは先日開館した都於郡歴史館の紹介をいただいた。



総会の様子

② 第1回研修会（13：00～14：45）会場：アートホール

第1回研修会では、前半に早稻田システム開発株式会社代表取締役 内田剛史氏に「サステナブルなデジタルアーカイブ ～法改正と博物館DXに対応するために～」と題した講演を行っていただいた。全国様々な館・園で取り込まれるデジタルアーカイブ化を持続可能な形でどのように行っていくか、について、多くの事例を交えた紹介をしていただいた。

後半では筑波大学 名誉教授 西岡貞一氏に「あなたの自作映像で博物館の魅力を発信してみませんか ～ 実践性・持続性を重視した映像発信戦略の提案～」と題した講演を行っていただいた。小規模館でもできる動画作成に関する事例を紹介いただきながら、作成の際のポイントなどをご教授いただいた。

質疑では、動画作成の実際などの質問が出るなど、活発な意見交換があった。



研修会の様子

④ 視察（15：10～15：40）会場：2階特別展示室 他

視察では、県立美術館の梅田副館長に解説をしていただき、特別展「平山郁夫展」を含む展示を鑑賞した。

まず、アートホールにて特別展の概要と今夏開催予定の「テオヤンセン展」の紹介をいただいた後、特別展示室入り口にて平山郁夫のエピソードやコレクション展、常設展などの紹介をいただいた。その後、各自で自由に観覧を行った。



視察解説の様子

令和6年度 第2回研修会について【報告】

① 巡検（10：00～11：30）会場：都城島津邸

はじめに、都城島津伝承館交流室にて、都城島津邸 小岩屋館長より都城島津邸の歴史などを交えてご挨拶いただいた。その後、特別展「室町時代の文化と南九州-動乱の世の島津氏・北郷氏-」を、特別展を担当された中嶋愛学芸員にご案内いただきながら観覧した。室町時代の社会・政治情勢と、それに影響を受け発展していった文化について、重要文化財の紺糸威紫白肩裾胴丸などの展示物の紹介を交えながらご説明いただいた。どの参加者も展示物一つ一つを丁寧に鑑賞する様子が見られた。



特別展参観の様子

後半では、国登録有形文化財である都城島津邸本宅を米澤副館長にご案内いただいた。昭和48年の全国植樹祭に伴う昭和天皇のご宿泊に備えた大改築などを当時の様子などを踏まえながらご説明いただいた。



② 研修会 (13:00~15:30)

会場：ウェルネス交流プラザ

研修会では、講師の到着が電車の運休の影響で遅れたため、予定を変更して実施した。会長挨拶のあと、情報交換・協議を約25分間行った。内容としては、まずミュージアムマップの作成について、7月に実施したアンケート結果を基に事務局案を提案し、参加者に意見を求めた。今後理事館に確認後、作成に取りかかる予定である。協議会のホームページも活用しながらデジタル化を進めていく。次に、自然災害に関する対応や被害に関する情報交換を行った。10月に行った自然災害被害アンケートの結果を踏まえながら、加盟館・園より津波に対する対応事例を聞き、今後各館での対応や相互協力の在り方などについて考えを深める時間となった。その後、各館・園のイベント情報などの紹介などを行った。



研修では、熊本博物館保存科学担当学芸員の坂本直也氏を講師に招いて、「文化財の保存環境～熊本博物館の事例について～」と題して講演いただいた。熊本博物館におけるIPMの状況や取組、燻蒸に関する現状と今後、熊本地震や令和2年にあった豪雨災害での文化財レスキューなどについて、写真や動画を交えたスライドや実物を提示しながらご紹介いただいた。質疑応答では、自館の実態を踏まえた質問を行う場面も多く見られ、会終了後にも講師への質問する様子があり、積極的な参加の様子が見られた。



【事務局からのお知らせ】

- 災害時相互協力基金について
寄付の相談や問合せ等ありましたら、事務局までお知らせください。
- 協議会ホームページについて
現在、更新を進めているところです。ご意見等ございましたら、事務局までご連絡ください。
- 会員館のイベント広報について
協議会のホームページ及びSNSで会員館のイベント情報を広報しています。ぜひ、情報をお寄せください。また、記事の「シェア」等によって情報が拡散しますよう御協力ください。
- 施設情報の更新について
会員館の施設情報について、4月初旬に確認のメールまたはFAXをいたします。ご協力ください。
※ 協議会の研修や活動について、ご意見等ございましたら、事務局までご連絡ください。

【発行】 令和7年3月31日

〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 (宮崎県総合博物館内)
宮崎県博物館等協議会 事務局
Tel. (0985)24-2071 Fax. (0985)24-2199